

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホーム あんきな家
日付	平成17年3月31日
	特定非営利活動法人
<b>評価機関名</b>	高齢者と痴呆の人のケアを大切にす会 LIFE SUPPORT推進グループ
評価調査員	在宅介護経験11年
評価調査員	在宅介護経験16年
<b>自主評価結果を見る</b>	
<b>評価項目の内容を見る</b>	
<b>事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)</b>	

## 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して(特に良いと思われる点など) 「自分達が気持ちが良いと思えるグループホームにしたい」は管理者の言葉。職員は年齢層や個性に巾があり、中年男性や若い女性もいて、それぞれが個性を生かして利用者に接している。男性職員は頼りになる息子のように、散歩に行く時に「さあ行こう!」と皆んなを引き連れて出たり、大きな物作りをしたりする。やはりこのお父さん役かな。娘のように家事をきりもりする職員、孫やひ孫のように身の回りを気遣いながら話し相手になったりして、家族の一員のように接している。利用者も気兼ねなく、ありのままの生活が出来る。又、小型犬も家族の一員になっており、その触れ合いも利用者の気持ちを和ませている。2階建てのホームで上下階に分かれて生活しているが、入浴や調理は1階でしている。2階の利用者も調理の手伝いに降りたりして、上下階を行き交っている。 「ここを娘たちが探してきてくれ、私が一番幸せ…」と一人の利用者が呟いていた。自慢の料理の手伝いは、彼女の主な役目となっており、てきぱきとして手さばきが見事であり、さすが昔とった杵柄である。「本を読もう」と一緒に絵本を読んだり、お菓子の広告を見せて「これどう?」と話題を提供したりして職員と一緒に過ごしている人や、自室でテレビを見る人、新聞を読んでいる人等、それぞれが自由な時間を過ごしている。
特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした 買物などに出掛ける利用者は、現在1人に限られているので、行き先やメンバーを考慮したり、ボランティアを利用するなどの工夫をして、楽しみとしての買物や外出を増やして、生活を更に豊かなものにして欲しい。 1階の4人だけ、2階の5人だけでの生活に慣れてしまっ、他のグループとの集まりに打ち解けにくいということがあるので、1日に1回でも1・2階の利用者全員が集まって、体操や歌等を楽しむ交流の時を作ってはどうでしょうか。 季節的なこともあるが、せつかく広い庭があるのに殺風景なのは残念。ベランダの前に、冬でも見て楽しめる植物や草花が欲しい。庭を生かした活動も出来ると思えば更に良いのだが。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か 少人数の家族として、遠慮や気がねのない本音で向き合え、安心して過ごせるホームにしようとしている。年齢や個性に幅のある職員が、家族の一員としての役割を持ち、利用者を含めた全体で、家族として生活出来る雰囲気を出そうとしている。 その中で、したいことのある利用者にはそれが出来るように支え、したいことが分らない人には話し掛けたり、絵本を読むなどして傍らに寄り添い、十分触れ合うことを大切に、利用者の希望や気持ちを聞き出そうとしている。 職員の関わりが“背伸び”して見せているように見えないところが素晴らしい。		

### 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 2階建てになっており、上下階に利用者は4人と5人で生活している。良い面や不便な事も考えられるが、職員の頑張りですべてをカバーしているのだろう。それぞれの部屋は個性にあった生活用具や飾り付けがされていて、潤いがある。個室にはトイレ、洗面台があり、プライバシーや利便性が配慮されている。個室から一歩出ると、陽当たりが良く、眺めの良いリビングやダイニングとなっていて、心地良く集まれるようになっていく。そして利用者はテーブルとソファのゾーンに別れて、楽しい時を過ごしている。 外回りは比較的 안전한散歩コースとなっており、朝には皆んなで散歩する。庭もあるが今は十分活用されていないのは残念。		

### ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 上下階に分かれて生活の規模が小さいので、一人ひとりの経歴や個性をよく把握し、その人が出来る事を生かして楽しめるように支援している。 その為に、書類は最小限にして事務処理を少なくし、利用者の傍らに寄り添い、話し掛けたり耳掃除をしたりする触れ合いの時間を少しでも多く取ることに努めている。そして、その触れ合いの中から、したい事を聞き出したり、その時の気持ちを受け止めていたりしている。職員は利用者にとって安心できる人、和める人になっているようだ。 しかし狭いグループホーム内に限られる人が殆んどで、変化に乏しく、買物の楽しみや屋外でのレクリエーションなどを増やす工夫をして欲しい。		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か 認知症の取り組みの先駆者という法人ならではの、良い点と苦悩する点とが見られた。同一敷地内に病院等の各施設があり各種の協力が得られることや、職員の質や勤務体制が法人側から一定レベルで確立されていること等は良い点が多い。又、有名な法人としての啓発活動の一環として、研修生の受け入れ等が多いため、利用者が多くの来訪者に会い、多くの刺激を得られるという良い点もある。しかし、地域内にも一般社会から隔絶されているため、近隣との交流、利用者の外出等に限度がある。 この点を改善するため、同じ来訪者でも定期的に協力の得られる実習生やボランティアの導入などを検討して、ホーム外での活動やレクリエーションをもっと探り入れて貰いたい。		